

# 企業経営と フィデューシャリー 改革



## JAビル カンファレンスセンター 4階 401A

東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル  
TEL:03-3212-1912(代)

- 電車でのアクセス
  - ◎地下鉄千代田線・半蔵門線・三田線・東西線・丸の内線 大手町駅下車 C2b出口
  - ◎地下鉄東西線 竹橋駅下車4番出口
- お車でのアクセス
  - 首都高速道路：神田橋インターチェンジをご利用ください



## ミッドランドホール

名古屋市中村区名駅4-7-1  
ミッドランドスクエア オフィスタワー5F  
TEL:052-527-8500

- 電車でのアクセス
  - ◎JR名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分
  - ◎ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分
- お車でのアクセス
  - 名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約6分 駐車場の収容台数123台
- 中部国際空港(セントレア)から名鉄空港特急利用で28分



## ヒルトン大阪

大阪市北区梅田1-8-8  
TEL:06-6347-7111

- 電車でのアクセス
  - ◎大阪環状線・東海道本線・宝塚線(JR) 大阪駅下車徒歩2分
  - ◎阪神電車 梅田駅下車 徒歩1分
  - ◎地下鉄四ツ橋線 西梅田駅下車 徒歩1分
- 駐車場のご利用
  - ◎24時間営業
  - ◎300台収容(高さ2.5mまで)

## お申し込み方法

右記のいずれかの方法で、お申し込みいただけます。その際に、開催日またはタイトルをお伝えください(定員になり次第、締め切らせて頂きます)。また、ご案内のセミナーは基本的に機関投資家および資産運用に関連する方を対象とさせて頂いております。それ以外の方からのお申し込みはお断りさせて頂く場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

※今後、セミナー案内をご希望されない方は、誠にお手数ですが、セミナー事務局まで、お電話(03-6685-0683)か、E-mail (info@fromhc.com)にて、ご連絡をお願い致します。

## こちらからお申し込み下さい

- ① <https://www.fromhc.com>  
プロ投資家向け 資産運用情報サイト「fromHC」
- ② FAX: 03-6685-0686
- ③ TEL: 03-6685-0683

本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討することを目的としております。本セミナー終了後には金融商品取引契約の勧誘を行う場合がございます。金融商品取引契約においては、投資対象の価格変動等により損失が生じる恐れがあります。また、報酬や諸経費は、契約毎に投資対象の種類等が異なるため、予め表示できません。なお、契約毎にリスク及び報酬や諸経費は異なりますので、契約締結前交付書面等をご覧下さい。

HCアセットマネジメント株式会社

一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会加入  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-11 Tel.03-6685-0681 Fax.03-6685-0686

7/14 (火) 東京

15:00~17:30  
(開場14:30)

会場：JAビル カンファレンスセンター 4階 401A  
東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル  
TEL: 03-3212-1912(代)

9/28 (月) 名古屋

14:00~17:00  
(開場13:30)

会場：ミッドランドホール  
名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア オフィスタワー 5F  
TEL: 052-527-8500

9/29 (火) 大阪

14:00~17:00  
(開場13:30)

会場：ヒルトン大阪  
大阪市北区梅田1-8-8 TEL: 06-6347-7111

〔人+産業金融=成長〕  
成長を支える投資の原点へ

HC  
asset  
management

Seminar  
2020

## ご挨拶に代えて

### フィデューシャリー・デューティーとベストをつくす義務 (2015.09.17)

『森本紀行はこう見る <https://www.fromhc.com/column/>』より

fromHC

検索

世のなかには、他人の信認を得て、行う業務があります。例えば、医師は、患者からの信認のもとで、弁護士は、依頼人からの信認のもとで、業務を遂行します。英米法では、医師や弁護士のように、他人の信認を得て職務を遂行する人のことを、フィデューシャリーと呼びます。フィデューシャリー・デューティーとは、他人の信認を得たものとして、フィデューシャリーが負っている義務です。

故に、フィデューシャリー・デューティーが発生するためには、信認関係が成立していなければならないのですが、どのような場合に信認関係が成立するかは、難しい問題です。

金融庁にして、フィデューシャリー・デューティーをとりあげたからといって、資産運用関連の諸法律を英米法に準拠したものに抜本的に改正することなど、毛頭考えてはいないでしょう。また、法律改正等によって規制を導入しても、それは、新しいルールを作るだけのことです。

ルールは、所詮は、最低限守られるべきことにすぎません。最低限の基準が守られているからといって、ベストがつくされるのでない限りは、資産運用関連業務の質が改善することにはならないのです。

真の改革は、基準を引き上げることではなくて、ベストを伸ばすことです。金融庁の用語でいえば、ベスト・プラクティスの追求こそが重要なのです。それは、ルールによってではなく、各金融機関のプリンシプル(行動原理)の確立によって、また、金融業界全体として、各自の固有のプリンシプルのもとで、創意工夫と切磋琢磨がなされることによって、実現されるものです。

顧客本位の業務運営に関する原則(フィデューシャリー・デューティー)は、ルール等の外部規範なのではなくて、金融機関自身のプリンシプルとして、ベスト・プラクティスを追求するための内部規範なのです。ですから、それは、規制によって強制されるものではなくて、金融機関が、金融庁との建設的な対話のなかで、資産運用関連業務の健全なる発展を真剣に考えたときに、自分自身に課す義務として、自然に到達する行動様式であるわけです。

講師：森本紀行

## 講演内容

企業のガバナンス改革によって経済成長を促し、ともに投資家の資産勘定を増大させること、それが金融行政の目指す「好循環」です。

企業のガバナンス改革に想定されるのは、資金循環の構造を通じた、ガバナンスの連鎖です。企業年金制度は産業金融の仕組みの一部を担います。掛金として年金基金に拠出された資金は、投資運用業者に運用を委託され、企業の成長のための資金供給という形で再び企業に還流します。

企業を直接律するものは「コーポレートガバナンス・コード」ですが、投資運用業者や企業年金基金が、「フィデューシャリー・デューティー」や「スチュワードシップ・コード」に即し、最終受益者への受託者責任を果たすべく行動するならば、相関関係によって企業に対する牽制が効き、より強力に、企業のガバナンス改革が促されます。ゆえに、企業年金基金の責任は重いのです。

企業年金制度は雇用の面からも、企業のガバナンス改革にとって、重要な役割を持ちます。

企業が年金資産を積み立てるのには二つ意味があり、その一つが、財務戦略的意味です。資産運用の付加価値により、年金退職金費用を削減できます。そしてもう一つが、人事戦略的意味です。勤続年数が長いほど従業員に有利な制度を持つことで、熟練した人材の引き留めとして働きます。更には福利制度として、従業員の就業意欲の促進にも繋がり、雇用マーケットでは、企業の魅力の一つとして、他社との競争優位に働きます。

## 講演項目

### ●金融行政の目的は金融構造改革を通じた経済厚生を増大

- ◎ ガバナンス一体改革における企業年金
- ◎ 企業年金のフィデューシャリー・デューティー
- ◎ 顧客本位と顧客満足

### ●企業年金をとりまく資金循環

- ◎ 産業資本の形成を支える資金循環
- ◎ 企業の事業投資と企業年金の投資との連続性

### ●給与の後払いの人事戦略的意味

- ◎ 人事政策の三つの「R」
- ◎ 熟練による人的資本の形成

### ●給与の後払いの財務戦略的意味

- ◎ 年金財政の仕組みと資産運用の目的

#### 講師略歴

HCアセットマネジメント株式会社  
代表取締役社長

### 森本紀行

三井生命(現大樹生命)のファンドマネジャーを経て、1990年1月ワイアット(現ウィリス・タワーズワトソン)に入社。日本初の事業として、年金基金等の機関投資家向け投資コンサルティング事業を立ち上げる。2002年11月、HCアセットマネジメントを設立、全世界の投資機会を発掘し、専門家に運用委託するという、新しいタイプの資産運用事業を始める。東京大学文学部哲学科卒。

